

世界保健機関（WHO）は権力奪取を試みている

1. ほとんどの人は、国際保健規約（IHR）という言葉聞いたことがないだろう。米国は2005年にIHRに合意した。この規則は米国憲法を上書きし、優先される。
2. 2022年1月18日、米国はIHRにいくつかの修正案を提出しました。それは、我々の主権をさらに手放し、世界保健機関（WHO）があなたの健康関連の権利と自由を制限する権限を大きく与えるものです。
3. 第75回世界保健総会は、今年5月22日から28日までスイスのジュネーブで開催される予定です。総会では、IHRの修正案について投票が行われます。私たち国民が主権に対するこの攻撃に立ち向かわない限り、それらは通過し、国際法として制定される可能性が非常に高いのです。
4. 国際保健規則のこれらの改正は、米国上院の3分の2の承認を必要としません。私たちは、国連とWHOのメンバーであることによって、すでにIHRに従うことに同意しています。私たちはすでに主権の一部を手放したのです。これらの改正は、加盟国を混乱させ、さらに多くの主権を放棄させるように設計されている。
5. IHRの修正案に加えて、WHOは政府間交渉機関（INB）を設立し、「パンデミックの予防、準備、対応に関する条約」の国際的な交渉を積極的に行っている。提案されている"パンデミック条約"は、上記の国際保健規則の修正案とは別に、それに加えて提案されているものである。
6. "パンデミック条約"はまだ存在しない。今まさに起草され、交渉されているところである。パンデミック条約に関する議論は重要であるが、人々を混乱させ、当面の懸念事項である今年5月22日から28日の世界保健総会で検討されているIHRの改正を無視させるための巧妙な陽動の一部である。
7. 今こそ、自分の権利のために声を上げ、立ち上がる時です。

**#DontYouDare #StopTheIHR #WeAreSovereign
DontYouDare.INFO**